

# 静岡市環境大学2018 講座報告 3日目

## 演題：気候変動下の生態系と物質循環のネットワーク

国立大学法人静岡大学 特任教授 鈴木 款 様

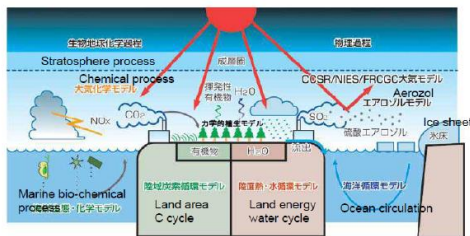
場所：しずもーる沼上3階研修室

日時：平成30年7月7日（土）10時45分から12時00分まで

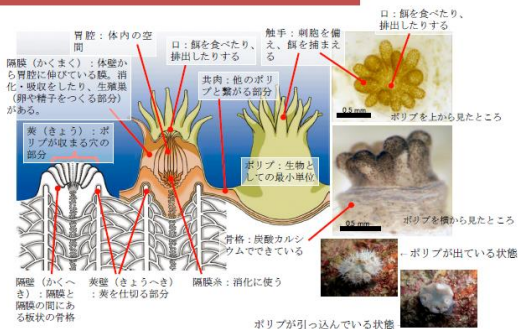
平成30年度7月7日：9:15-10:30  
「気候変動下の生態系と物質循環のネットワーク」  
静岡大学 特任教授 鈴木 款

### 地球システム統合モデル (ESM) 文科省革新プロジェクト

気候が変化すれば生態系も変化し、産業循環も変化する。気候と生態系の相互作用も考慮して将来の地球環境変化を予測できるのが地球システム統合モデル(ESM)であり、これの高度化をはかる。



### サンゴの体のつくり：サンゴは動物で、褐虫藻(渦鞭毛藻)が体内に共生している



## 講義のポイント

### 要点1：温室効果が起こる仕組み

- 大気中の温室効果気体が、地表面から出る赤外線を吸収。再び赤外線を放射することで地表面気温が上昇する。

### 要点2：近年の温暖化停滞傾向はいずれ元のスピードに戻る

### 要点3：CO<sub>2</sub>と地球温暖化の関係

- CO<sub>2</sub>は温暖化に影響を与えているが、大気と海洋の相互作用などその他の様々な要因が影響している。

### 要点4：サンゴの白化は、褐虫藻の光合成色素・蛍光の喪失が原因

## 受講生の感想など

- ★ 身近なテーマでもおもしろかった。今回の講義は導入部門としてとらえ、自分なりに色々と調べていきたいと思いました。
- ★ 非常に素晴らしい講義でした。この次は、サンゴ単体で一講義お願いしたいです。
- ★ むずかしかったが、楽しいお話だった。もっといろんなお話を聞きたい。
- ★ 非常に高度な講義でした。
- ★ 新たな視点に幾つも気付かせていただきました。ありがとうございます。
- ★ 自分ながらに考えることが重要だと再認識しました。